

「第12回川端康成記念講演会」によせて

R2年11月5日

校長 西山 和孝

本日は、竹田市および竹田市教育委員会主催の「第12回川端康成記念講演会」に本校生をお招きいただき誠にありがとうございます。また、先日は市の企画情報課の舞様に、本校の「総合的な探究の時間」の中で、1年生が行っている竹田コミュニティプランニングの本年度第1回の講師としてお話をさせていただきました。その中で舞さんから「竹田市にはみなさんの力が必要です。みなさんのチャレンジを応援、期待しています」という力強いメッセージをいただきました。竹田コミュニティプランニングは、本校生が地域の現状や課題を知り、その解決策を高校生目線で提言していく取組です。その提言が市政に反映できるまでの力を付けてほしい、という励ましにもなりました。有難うございました。

今から68年前の昭和27年に、川端康成先生から竹田高校の先輩達が、直接話を聴く機会がありました。講演を聞いた当時の生徒は、心を打ち震わせ、その体験を糧とし社会で活躍する人材が多く輩出されました。多感な青春時代に、著名な方の話を聴いたり、本を読むことがどれほど貴重なものかを物語っています。

今日もまた、これからは永幹夫様による講演を聴ける貴重な機会を得ることができました。ポストコロナの「新時代」を切り拓くのは、まさに皆さん達です。地球規模の課題を自らの問題として捉え、身近なところから積極的に取り組み、持続可能な社会づくりの先駆けとなることを期待しています。今日の講演も糧とし、よりよい社会づくりの担い手となる土台を作っていくことを願い、校長の挨拶といたします